

こ ん に ち ほ 小 あ き ら で す。

きらきら通信

冬号

2016. 2月

議会報告

shall we 投票

総務企画常任委員会

家庭教育支援・
子どもの未来に関する
特別委員会

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

2016(平成28)年度群馬県予算への提言

世界遺産・富岡製糸場に続け！

上野三碑、世界遺産登録を目指して

日本遺産「かかあ天下～ぐんま絹物語」

寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新しい年を迎え、県議会議員としての2期目の活動もあつという間に1年が過ぎようとしています。昨年は戦後70年という大きな節目の年でした。戦争という困難を乗り越え、平和な日本の礎を築いた先人たちの苦労に思いを馳せるとき、今を生きる者として、またこれからを生きる世代として、自由で平和な社会、基本的人権が尊重される社会の大切さ、未来に向かってどういった道を進むべきかを考えた1年でもありました。

少子高齢化、人口減少、国際化、高度情報化、安全保障や環境問題など、私たちの周りには大きな課題が山積しています。誰もが安心して暮らせる「地域」を創るために、今こそ未来について話し合い、一人ひとりが自分にできることを始めることが重要ではないでしょうか。本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年でありますことを心から祈念しています。



議会報告

【ぐんま家庭教育応援条例】の制定に向けて

家庭は教育の原点であり、全ての教育の出発点ですが、少子化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、社会が変化する中で、家庭における教育が困難な状況も生じています。いつの時代も子どもたちは地域の宝。家庭教育の大切さを見直し、地域全体で支える取り組みを進めるために、群馬県では家庭教育の支援条例の制定を検討しています。特別委員会で検討を重ねるとともに、子育てに関わる17団体からのヒアリングを行い、群馬県の家庭教育の現状や、どのような支援が必要なのか、条例の文言にどこまで盛り込むのかを現在協議しています。私たちの生活に関わる条例なので、是非パブリックコメントを実施してもらいたいと委員会の中でも要請したのですが、多数派の意見で実施は見送られることになってしまいました。県民に開かれた議会を目指して、



議会基本条例も制定したばかりなのに、県民の皆さんに参画してもらう機会が少ないのは残念です。県民アンケートやパブリックコメントなど、県民の皆さんのお意見を直接反映する機会を、議会としてもっと重要視していく必要があると思います。

県議会新春交流会にて、茂木安中市長と

マニフェスト大賞を受賞しました！

「マニフェスト大賞」はこれまで注目を集めることの少なかつた地方自治体の首長、議員や地域主権を支える市民の活動実績を募集・表彰し、発表することで、地方政治で地道な活動を積む人々に名誉を与え、更なる政策提言意欲の向上につながることを期待するものです。今年で第10回を迎えるマニフェスト大賞、応募総数2467件の中からマニフェスト賞、成果賞、政策提言賞、シチズンシップ推進賞など各部門の受賞者が発表され、なんと私の『きらきら通信・きっとあずま』の取り組みが『優秀コミュニケーション・ネット選挙戦略賞』に選ばれました。この賞はHPやブログ、SNS、広報誌、チラシ等により情報発信し、住民と活発に情報共有・情報交流を行っている人や団体に贈られる賞のこと。成果賞や政策提言賞では行政や議会の素晴らしい取り組みがたくさん表彰されています。群馬でもマネしたい取り組みがいっぱいです！



干支だるま



東公民館文化祭



前橋初市だるま供養



前橋市民展

18歳選挙権

県議会の豆知識

選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる公職選挙法が成立し、今年夏の参議院選挙から適用される予定です。

2014年衆議院選挙の20代の投票率は32.58%、最も高い60歳代の68.28%の半分以下でした。人口推計では、20歳代の約1300万人に対し、60歳代は約1800万人だったので、それらを掛け合わせると、年代別票数では約3倍の差となっています。

20代の投票数 1300万人×32.58% = 約420万票

60代の得票数 1800万人×68.28% = 約1240万票

今回の法改正で、18歳、19歳の人口約240万人が新たに有権者として誕生します。

若者の声を政治に直接届けよう！

Shall we 投票？



前橋市長選挙

2月14日 前橋市長選挙

前回の投票率は49.06%

今回の投票率は
過去最低の30.97%

..... こういう場合は無効投票となります

●候補者の名前の他に「頑張れ」「必勝」などのメッセージを書いた場合

●候補者の名前の後ろに「ちゃん」「さんへ」などと書いた場合

●複数の候補者の名前を書いた場合

せっかく投票しても余分な記載があると無効になってしまってるのでご注意を！

次は参議院選挙です。目指せ投票率UP！

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

18歳選挙権の実施に向けて、若者に政治や議会への関心を深めてもらい、県民参加型の県政を実現する取り組みが求められています。群馬県議会では、県内大学（県立女子大、健康科学大学、高崎経済大学、群馬大学）と連携し、学生と議会との意見交換会を実施。私も群馬大学生徒の意見交換会に参加しました。



学生からの意見・質問

- 選挙の時に掲げた公約はどのくらい実行できたのか。達成度を県民に報告しているか。
- 政党が違ってもプライベートでは仲が良いのか。
- 子どもの貧困の取り組みがなかなか進んでいないのは何故か。
- 車を持っていない学生が、群馬の観光地を巡るには公共交通が不便。
- 人口減少で今後は女性も働かないとといわれるが、働きながら子育てしやすい環境整備が必要。

学生から率直な質問や感想をいただき、若者に議会を身近に感じてもらうことも大切ですが、私たちがもっと若者に関心を持つことも重要だと改めて感じました。

若い世代の投票率に注目です！



新年互礼会



新年の集い



どんど焼き

2016(平成28)年度群馬県予算への提言

「リベラル群馬」としての最重要課題を4項目23要望に絞り込んだ来年度予算要望を知事に提出しました!

I 県独自の経済活性化及び雇用対策への提言

1. ジョブカフェぐんまの強化等を通じ、若者・女性の正規雇用に重点を置いた雇用支援策の充実を要望します。
2. 6次産業化・観光等の産業の創出や、U・Iターン等の定住促進など、過疎山村地域の再生に取り組む県内市町村に対し、県独自の補助金制度など実効ある支援制度の創設を要望します。
3. 再生可能エネルギー導入推進にあたっては、地域経済への波及効果が高いながらも導入が依然不十分なバイオマス、小水力発電の推進に重点をシフトするよう要望します。
4. 企業の障がい者雇用率について、全国平均を下回っている現状を開拓するとの目標を掲げていることから、障がい者雇用に取り組む企業等に対する県独自のインセンティブ策を講じるなど、他県を上回る対策を要望します。
5. 富岡製糸場が世界文化遺産に登録されたことから、産業としての支援のみならず“文化”として養蚕を守る視点での支援策を要望します。
6. TPPによる群馬の農業への影響について県民への丁寧な説明を行うとともに、打撃を受ける個々の農家に対する県独自の支援策を要望します。
7. 厚生労働省の発表によると、2025年に介護職員が最も不足する都道府県ランキングで群馬県が2位に位置しており、群馬県の介護職員の人材不足は大変深刻な状況にあります。介護職員人材不足解消に向け、職員の処遇改善や人材の育成等、県が早急に取り組むことを要望いたします。

II 安全安心な暮らしへの提言

1. 一時的に保管をしている放射能指定廃棄物について、早急に当該市町村長会議を開催し、環境省との交渉においては、県民視点でその解決に当たることを要望します。また、現行のフレコンバッグによる保管については、劣化が心配されることから適正な管理をするよう要望します。
2. 全ての市町村におけるDV対策基本計画の策定および配偶者暴力相談支援センターの設置が進むように、市町村への支援および市町村と連携した取り組みを行うことを要望します。関係機関や学校・地域と連携強化を図り、DVの予防から相談、保護、自立まで被害者に寄り添った支援を行うことを要望します。また、民間シェルターやステップハウス等への助成の拡充を要望します。
3. 「健康寿命日本一」を目指し、高齢者の活躍機会の拡大、生活習慣病等の予防、健康診断の受診率向上の取り組みを強化することを要望します。
4. 児童福祉施設（児童相談所・児童自立支援施設等）の充実を図るため、職員配置基準の更なる改善を行うとともに、ハード面・ソフト面における必要な措置を講じることを要望します。また、民間の自立援助ホームに対する支援の拡充を要望します。
5. 本年度から生活困窮者自立支援法が施行されましたが、必須事業と任意事業の区分があり、市町村ごとの支援内容に差が出てしまいます。市町村の実施状況を見ながら、支援内容に差が出ないよう県が調整機能を果たし、また支援を必要とする人に適切な支援が行き届くよう、市町村の事業体制の支援を要望いたします。
6. 地方消費税の増額分は、明確に社会保障関係費の財源となるような予算編成を要望します。

III 社会基盤・人づくりへの提言

1. 公共交通網整備は、絹産業遺産群等の観光資源の周遊、および「まちづくりビジョン」が目指すコンパクトな都市づくりに不可欠なインフラであることから、施策の経済波及効果等を再評価し、整備予算を増額することを要望します。
2. 道路整備の在り方について、既存の道路等インフラの維持管理・更新を先送りすることなく最優先に予算配分を行うよう要望します。
3. 子どもたちへのきめ細かな対応や、主体的な豊かな学びのために、県単位で加配教員を含む確実な教職員配置の拡充を行うとともに、国に対して教職員定数改善計画を策定・実行するよう求めるよう要望します。
4. 県立図書館の資料購入費、昆虫の森・天文台の運営費の大幅削減が続いていることから、施設本来の機能を果たせる水準となるよう予算の拡充を要望します。
5. 選挙権年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、各教育段階で子供たちが主体的に学ぶ主権者教育をより一層推進していくとともに、教員が委縮することなく創意ある政治的教養の教育実践に取り組める環境づくりを要望します。
6. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置充実・処遇改善のための予算措置を講じることを要望します。



IV その他重要課題に対する 要望事項

1. 高崎競馬場跡地におけるコンベンション施設建設計画について以下の通り要望します。

①アンケート調査など、広く県民の意見を聴取し、開かれた計画検討を行うこと。

②既存施設を活用したコンベンション誘致のためのビューロー設置を最優先に実施すること。

③建設時期については、建設コストの高騰による県民への過度な税負担を生じることのないよう、現計画にとらわれず適切な時期へ見直しを行うこと。

2. 行政経営の視点から、県民目線の県政を実現するための改革に取り組むとともに、「仕事の仕方」改革や行政基盤の強化に取り組むことを要望します。

また、計画推進のための施策の実施に当たっては、PDCAサイクルに基づく行政評価システムの活用により着実にその実効性を確保することを要望します。加えて実効性を確保するための手段として「行政評価条例」の研究を要望します。

3. 動物愛護施策については、殺処分ゼロを目指した体制づくりを強力に進めるとともに、新たに設置された動物愛護センターを中心として、NPOやボランティアなどとの連携を深化させることを求めます。また、動物遺棄事件等への厳正な対処および未然防止の取り組みに引き続き力を入れるよう求めます。

4. 緑の県民税については、導入の趣旨を踏まえ、群馬の森林を守ることへの県民の理解を深めるよう取り組むとともに、各種事業について、NPO・ボランティア団体が積極的に受託できるよう、使い勝手の良い制度に改善を行うことを要望します。

1月は18日、20日、29日と降雪が続きました。一昨年の豪雪被害を思い出しますね。

雪かきをしている際に転んでケガをしたり、通勤途中に凍った歩道で転んでケガをした人が多数いた模様。

歩き慣れている通勤路や通学路でも、積雪や凍結路面によって歩きづらくなります。自転車も大変危険なので、注意が必要です。

大雪に備えて、自分にできることを準備しましょう！

【大雪時に注意すること】

①気象庁から発表される最新の気象情報に注意する

②不要不急な外出は極力控える

③やむを得ず外出する場合の注意点

- 普段よりも時間に余裕を持って
- 雪用の長靴や滑り止めのついた靴を履く
- 自動車は、冬用タイヤやチェーンを必ず装着
- スピードを落とし、急ブレーキ、急ハンドルなどの操作は行わない

④命を守る除雪中の事故防止10箇条

- 作業は家族、隣近所にも声を掛けけて2人以上で
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし
- 晴れの日ほど要注意。屋根の雪がゆるんでいる
- はしごの固定を忘れずに
- エンジンを切ってから、除雪機の雪詰まりの取り除き
- 低い屋根でも油断は禁物
- 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に
- 面倒でも命綱とヘルメットを
- 命綱、除雪機などの用具はこまめに手入れ・点検を
- 作業の時には携帯電話を持っていく

よくある除雪作業中の事故とその対策

平成25年度の大雪による死者の75%は高齢者
69%は除雪作業中でした
(年齢65歳以上)

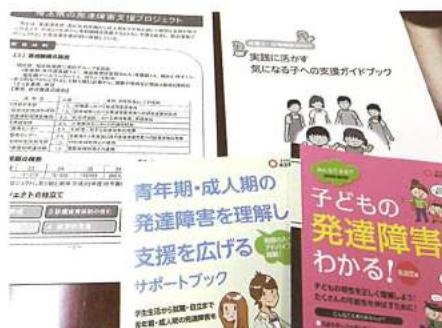
一人での除雪作業は危険です！

地域一齊の雪下ろしなど

除雪は必ず2人以上で！



埼玉県、熊本県、鹿児島県にお邪魔し、家庭教育支援条例の取り組み状況や生涯を通じた発達障害児(者)の支援の取り組みや、子供たち的好奇心を大切にしながら遊びや交流を図っている施設などを調査しました。



2日目は、熊本県にて、家庭教育支援条例に基づく取り組みや、親の学びのプログラムについて調査

熊本県は全国に先駆けて平成24年に家庭教育支援条例を制定しました。

施行後2年半が経過して、①県庁内の横の連携ができ、意識改革が起き始めた②企業や市町村等の理解が深まり、県主導から市町村主導による事業展開に移行してきた、③学校等で条例の普及や「親の学び」プログラムの実施機会が増えた④財政上の措置や新たな事業の展開も始まった、など様々な良い効果が出ているそうです。



「親の学び」プログラムは、行政から子育ての専門的な知識を押し付けるのではなく、保護者の方々がグループになって、お互いの悩みや子育て方法を話し合うワークショップ形式のプログラムになっており、親自身の聴く力や伝える力、解決策を考える力が養える内容になっていました。

自分たちで考えて解決策を見つけていくので、参加した後はきっと達成感や充実感が味わえるだろうし、保育園や小学校といったそれぞれの段階で新たなコミュニティが生まれる、地域力の向上にも繋がる取り組みだと思います。

平成26年度のプログラムの参加者

は、約65000人ということで、保護者全体(40万人)から見るとまだ一部ですが、今後多くの人に参加してもらえるように工夫をしていきたいとのこと。

企業と連携し、職場内でも「親の学び」プログラムを実施できれば、父親にも参加してもらうことができますね。

家庭教育支援条例のきっかけにもなった「くまもと家庭教育10か条」も素敵な取り組み。皆さんも子どもと一緒に「我が家の1か条」を考えてみませんか?



3日目は鹿児島県議会にて、家庭教育支援条例の制定経過や施行後の取り組みについて調査

鹿児島県は、知事のトップダウンで条例を制定した熊本県と違い、議会からの提案という形で条例を制定しており、まさに群馬県と同じ状況といえます。会派ごとの考え方の違いを踏まえ、時間をかけて慎重に制定した経過はとても参考になりました。また、トップダウンで全庁的に取り組んでいる熊本県との比較も興味深い。議会で制定した以上、条例施行後も議会がしっかりと責任をもって家庭教育支援の推進と取り組みのチェックをしていく必要がありますね。



上野三碑、世界遺産登録を目指して

9月24日(木)、日本ユネスコ国内委員会の世界記憶遺産選考委員会が開催され、高崎市にある上野三碑が国内候補として決定されました。今後は、平成29年のユネスコ国際諮問委員会において登録の可否が審議される予定です。山上碑(やまのうえひ、681年)、多胡碑(たごひ、711年頃)、金井沢碑(かないざわひ、726年)と呼ばれる3つの碑は、上野の国に住み着いた朝鮮半島からの渡来人がもたらしたもので、1300年前の東アジアの文化交流を記す貴重な歴史資料となっています。



「かかあ天下」ついに日本遺産に認定！

日本遺産とは、地域の文化や伝統の歴史的魅力度や特色を物語るストーリーを国が認定し、国内外に戦略的に情報発信することにより、地域の活性化を図るもので、平成27年4月から始まり、2020年までに100件を認定する予定。第1回の審査では、全国から提案された83件のうち「かかあ天下—ぐんまの絹物語—」など18件が認定されました。古くから養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると製糸工女や織手として活躍した群馬の女性。その魅力を日本全国に、そして世界に発信していきたいですね！

総務企画常任委員会の県内調査

2016.1.26

県立大学の法人化に向けて、午前中は県民健康科学大学との意見交換。平成30年度を目途に「1法人2大学」とすることで準備が進められることになっていますが、健科大の高田学長からは、法人化によって柔軟な対応と中長期的な大学の活性化が図れるのではないか、という前向きなご意見をいただきました。



今の公立大学の枠組みの中では、予算の使い道が費目まで決まっていて、しかも一年で使いきらなければならないところを、法人になれば大学の判断と責任で予算配分が可能になるでしょう。また、現在は健科大と女子大それぞれで大学の事務作業を行っていますが、小規模な大学ではそれも大変な作業なの

で、法人化によって共通する事務作業を一つにできれば、大学は本来の学業により専念できるとのこと。二つの大学の個性を最大限に活かせるような形を作っていくたいですね。

健科大卒業生の群馬県内就職率がまだまだ低いのも気になりますが…。法人化と合わせて、群馬県で投資した人材に、県内でしっかりと活躍してもらえるような仕組み作りも考えないと！

平成26・27年度卒業生の進路状況 1) 平成26年度卒業生の進路状況										
学部	人數	進路実績		就労実績			就学実績			その他
		就労	就学	就労	就学	就労	就学	就労	就学	
看護学部	82	5	72	5	0	77	45	0	399	384
放射線学部	36	0	36	0	9	94	15	2	94.4	44.1
計	118	5	113	5	0	111	60	2	98.2	54.1

就職先の内訳										
学部	国立 病院	私立 病院	公的 病院	私立 病院	公的 病院	県市 町村	その他	合計	学部	合計
看護学部	10	6	31	25	0	5	0	71	34	111
放射線学部	4	4	14	9	0	2	1	11	14	54
計	14	10	45	34	0	7	1	87	48	169

午後は県立女子大との意見交換。文部科学省の公立大学は全国でも群馬だけといわれていますが、県立女子大は群馬学センターなど地域に根ざした貴重な研究もたくさん行っており、歴史や文化を重んじる群馬の県民性が最も現れている学校です。

法人化を契機に、国際色豊かな大学を目指し、留学生会館などを設置していくこと。経営の理事長と教学の学長とがしっかりと連携できる組織にすることが重要で、そのキーパーソンの人事が一番の課題だろうというご意見もいただきました。

両学長さんともに本当に熱意のある素晴らしい方で、県立大学で学ぶ学生たちが羨ましく思います。1法人2大学の方針が決まったところで、群馬らしい大学のあり方を具体的に作り上げていく段階に入りました。



活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- | | |
|---|---|
| 11月 3日 ぐんま県民マラソン | 12月 20日 宇宙学校まえばし/JA
群馬青年部との意見交換会 |
| 11月 5日 熊野神社西の市 | 12月 23日 YAC 前橋分団例会 |
| 11月 6日 本会議/マニフェスト
大賞授賞式 | 12月 25日 しきしま倫理法人会
モーニングセミナー/
知事要望 |
| 11月 7日 東公民館文化祭 | 12月 28日~30日 消防回歳末特別警戒
激励 |
| 11月 8日 前箱田町園芸愛好会・
展示会/前橋東部商工祭 | 12月 31日 江田鏡神社、東箱田飯
玉神社、上新田雷電神
社初詣 |
| 11月 11日~13日 特別委員会県外調査 | 1月 1日 前箱田町互礼会、古市町
互礼会 |
| 11月 13日 長昌寺能/連合前橋地
協定期総会 | 1月 6日 群馬県議会新春交流会、
上毛新聞社新年交歓会 |
| 11月 14日 前橋市農業まつり/大利
根町文化祭 | 1月 7日 前箱田町いきいきサロ
ン、前橋商工会議所互
礼会 |
| 11月 15日 前橋スマイルキャンパス | 1月 9日 前橋初市まつりだるま供
養/YAC 前橋分団例会 |
| 11月 16日 林活議連県外調査 | 1月 10日 前橋市消防出初式、前橋
市成人式 |
| 11月 19日 前橋白門会総会 | 1月 11日 どんど焼き(川曲町、古
市町、下新田町、東箱田
町、西箱田町) /大手町1
丁目新年会 |
| 11月 20日 热血!高校生販売甲子園 | 1月 13日 前橋青年会議所1月例会 |
| 11月 23日 45daysクロージング | 1月 14日 部落解放同盟旗開き、前
橋東ロータリー例会、三
森事務所茶和会 |
| 11月 25日 本会議/ぐんま女性議員
政策会議/特別委員会 | 1月 15日 連合政策アドバイザー、
東部商工会新年互礼会、
齋藤由美子と愉快な仲間
たち生徒作品展 |
| 11月 26日 子育てフォーラム | 1月 16日 連合トータルライフアッ
プ全県集会/前箱田町園
芸愛好会新年会/繭玉づくり |
| 11月 28日 日本青年会議所群馬ブ
ロック全体会議 | 1月 17日 前箱田町どんど焼き |
| 11月 30日 一般質問 | 1月 21日 特別委員会/労使共同セ
ミナー |
| 12月 1日 一般質問 | 1月 23日 小川あきら後援会新春の
集い |
| 12月 3日 一般質問 | 1月 27日 月一常任委員会 |
| 12月 5日 秀洋麗会発表会 | 1月 28日 連合前橋新年のつどい |
| 12月 6日 前箱田町餅つき/YAC
前橋分団例会 | |
| 12月 7日 総務企画常任委員会/
前橋農政懇談会 | |
| 12月 8日 総務企画常任委員会 | |
| 12月 9日 議員団会議/特別委員会 | |
| 12月 10日 特別委員会/大学意見
交換会 | |
| 12月 12日 前橋青年会議所12月
例会 | |
| 12月 14日 衆議院議員宮崎たけし
さん忘年会 | |
| 12月 14日 議員団会議 | |
| 12月 15日 本会議 | |
| 12月 17日 農業経営士会研修会/
恵風会理事会/前橋東
ロータリー例会 | |
| 12月 19日 民主党女性議員ネット
ワーク会議/連合議員
懇話会 | |

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬
弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会
議員(初当選)。2015年・群馬県議会議
員現在2期目・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?



akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
&ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



第8回 熱血!高校生販売甲子園

投稿日: 2015年11月20日

高崎市で開催された「第8回
熱血!高校生販売甲子園」に接客
審査員として参加させていた
だきました。

商業・農業構成の成果を発表
する場として2008年に6校8
チームでスタートした販売甲子
園ですが、第8回を迎えた今回
は、県外(高知・愛媛・鹿児島・
石川・福島・埼玉・栃木)から9
校が参加し、初の全国大会に!
県内の24校30チームと合わせ
て、約40チームが商売の腕を競
い合いました。

自分たちで企画し、手作りした
商品を、販売、その売り上げや
接客、コンセプトなどが審査対
象になります。地元の食材を
使ったアイデア商品もたくさん
あって、商品の魅力や味はもち
ろんですが、呼び込みの元気な
声や、丁寧に商品の説明をして
くれる姿勢など、高校生の真剣
な取り組みに押されて、ついつ
いたくさん買ってしまいました。
高校生と地域の大人が触れ合
える素敵な販売甲子園。来年
も楽しみです!



前橋市でのまんど 相乗りタクシー「マイタク」

投稿日: 2016年1月14日

今日は、前橋市の出前講座で公
共交通の乗り方ガイドとマイタ
クについてお勉強。

前橋市でのまんど相乗りタク
シ「マイタク」がいよいよ1月
23日から始まります。①年齢75
歳以上の方、②年齢65歳以上
で運転免許証をお持ちでない
方、③身体障害者、知的障害者、
精神障害者、発達障害者、要介
護・要支援認定者、難病患者、
小児慢性特定疾病患者、妊産
婦、④運転免許証を自主返納し
た方は、タクシー利用の際に支
援が受けられるようになります。
一人で利用する場合も支援が受
けられますが、二人以上で相乗
りすれば支援の割合が増える
仕組み。バスや電車の利用が
難しい高齢者や要介護者など
自力移動が困難な皆さんに、お
出かけの機会を提供する目的
です。日常の生活に必要な通院
や買い物の支援になりますね。
ただし、事前に登録が必要で、
1人一日2回まで、年間120回(60
往復)となっています。申請書
は、前橋市役所や市民サービス
センターで配布しています。
運転免許保有率が日本一とい
われる群馬県。県でも運転免
許証の自主返納を推奨していま
すが、運転に不安を感じる高齢
ドライバーがハンドルを手放す
きっかけになるといいですね!



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.<http://akira-o.jp> Email info@akira-o.jp

